

△遠田郡は民衆党員議師義三の地盤であるが前回に比し約六百票を減じた  
然し其得票は質的に変化して農民組合の影徳堂下にあるものが約五分を占めてある  
△仙台市に於ては労働者の投票は政友、民政の中島、長谷川及中立の平渡等の二  
に取らぬものか少く亦い

△尚且中立は守屋栄夫、平渡信の二人であるが前者は政友系、後者は純中立  
其各得票示す

守屋(当選)二二六〇六 平渡 四、八二二

正誤

六枚目志田郡三本木町の秋得西示は22票とあるも20票が正し  
七枚目伊具郡小斎村の民政得票は16票とあるも14票が正し

二 選挙協定に關して

人地暨候補者の協定を過  
我地盤城縣支部聯合會及社会民衆党仙北支部は昨年十月新縣會開會を機  
して共同委員會を持ち、県政革新運動を起し、県政革新會盟の創立に努  
せしめたのであつた然し我々はこの運動に於て縣政の曝露はなし得たので  
あつたが大衆門等の組織は我々のみに終り縣會内に在る柳枝三君、仙北支  
部長一の活動振を大衆に示さんとす彼の討議を支持した結果大衆の  
かくつたこの運動及共同委員會は、県會終了直自然消滅の態に在りし  
あつたが昨年十二月廿六日我々の多田君武内君は社民党師を動かさ  
し、總選挙に對する彼の内意を據り、結句共同でやらうとす小事に止  
し、一月四日我々は議會解散運動を總選挙戦の前段的門争として、共同  
人事を社民党仙北支部に申込んだが、これは突然事故に成り、あつた  
その頃我党に於ては、候補者は倉城下、倉下、倉下、倉下、倉下、倉下、  
共同で戦ふ事と決定し、仙北支部中の在野派子に、我々のフラスコと  
見ると可き袖井君大友君をして社民党師都たその氣運を、あつた  
が一月五日社民党の執行委員會に於て、この事、決断された  
然るにその後師義三君は上京し、本都と相談して吉野作造君を候補とし、  
二人は師木文治君と共に、赤松君を訪ひ、その承諾を得、結果、  
上に発表されたのであつた